

事業計画書

事業名	老いても元気で楽しく暮らせる町内会をつくろう																																										
場所	沼津市 東椎路 地内																																										
実施予定期間	平成 29年 1月10日 ～ 平成29年 9月 30日																																										
日程	実施項目・作業項目																																										
	<p>少子高齢者や人口流出の影響により、地域交流の希薄化が進行している。独居者や高齢者世帯では、生活のみならず社会参加に困難を生じ、ついには空き家から空き地へと住宅地としての空洞化が進んでいる。50年前に新興住宅地としての賑わいを少しでも取り戻すため、下記の事業を実施する。</p> <p>①赤坂自治会についてどう思うか、また、今後どうしたらいいと思うかについて全世帯にアンケートを実施するとともに、地域商店の地域密着度について調査をするなど、赤坂自治会の現状を把握する。</p> <p>②高齢者が、趣味を広げ家に引きこもることなく生きがいをもって暮らしてもらうため、町内にいる様々な達人から手ほどきを受ける講座や、日々の健康に留意し、健康長寿を長く保つための講座、地震発災時や健康不安時などもしもの時に備える講座を開催する。</p> <p>③小学生の放課後学習支援を行うことで世代間交流を促進することで地域の活性化を図る。</p> <p>④棄てるには惜しい不用品を持ち寄り、ガレージセールを行うことで地域に賑わいを創造するとともに、これを発展させ、将来的に互助会に成長させる。</p> <p>⑤赤坂町内会のことを内外の多くの人たちに知ってもらうため、会報「赤坂町内会かわら版」を季刊発行し、その中で健康や趣味、赤坂今昔、明日の赤坂をテーマに問題提起を行うとともに、ホームページの充実を図る。</p> <p>⑥様々なイベントに取り組んだ上で、赤坂町内会の10年後についてみんなで考える場を設ける。</p> <p>【全体スケジュール】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>月</th> <th>活動内容</th> <th>参加者数</th> <th>場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1月</td> <td>全世帯アンケートの実施、 商店街地域密着調査の実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>町内の達人講座</td> <td></td> <td>赤坂公民館</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>会報誌の発行</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4月</td> <td>小学生の放課後学習支援</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5月</td> <td>ガレージセールの実施</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>会報誌の発行</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>健康講座</td> <td></td> <td>赤坂公民館</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>もしもの備え講座</td> <td></td> <td>赤坂公民館</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>会報誌発行 赤坂町内会の10年後を考える</td> <td></td> <td>赤坂公民館</td> </tr> </tbody> </table> <p>※会報誌の編集会議は毎月第1・3日曜 15時から実施</p>			月	活動内容	参加者数	場所	1月	全世帯アンケートの実施、 商店街地域密着調査の実施			2月	町内の達人講座		赤坂公民館	3月	会報誌の発行			4月	小学生の放課後学習支援			5月	ガレージセールの実施			6月	会報誌の発行			7月	健康講座		赤坂公民館	8月	もしもの備え講座		赤坂公民館	9月	会報誌発行 赤坂町内会の10年後を考える		赤坂公民館
月	活動内容	参加者数	場所																																								
1月	全世帯アンケートの実施、 商店街地域密着調査の実施																																										
2月	町内の達人講座		赤坂公民館																																								
3月	会報誌の発行																																										
4月	小学生の放課後学習支援																																										
5月	ガレージセールの実施																																										
6月	会報誌の発行																																										
7月	健康講座		赤坂公民館																																								
8月	もしもの備え講座		赤坂公民館																																								
9月	会報誌発行 赤坂町内会の10年後を考える		赤坂公民館																																								

事業効果	<p>全世帯を対象に町内会に関するアンケートを実施することで、町内会の現状や住民のニーズを把握することができ、今後の町内会の取り組みの参考にできるとともに、住民の町内会に関する問題意識や関心が高まり活発な意見交換が期待できる。</p> <p>また、各講座やイベントを開催することで、高齢者の健康増進や生きがいに繋がる。</p> <p>さらに、若い世代も参加しやすいイベントを実施することで、世代間交流が希薄化している地域交流に新たなコミュニケーションの場ができ、地域の絆が深まるとともに、まちの賑わいが創出され、まちの活性化が図られる。</p>
------	--

※評価の視点については、募集の手引きを確認してください。

公益性	<p>高齢者を対象に各講座を実施することで、高齢者が生きがいを持って元気に楽しく暮らすことができ、健康寿命を延ばす効果が期待できるとともに、町内で発生するであろう想定事故の減少に繋がり、安全安心な地域づくりに寄与する。</p> <p>また、小学生や若い世代との世代間交流が促進され、まちの活性化を促進する公益的な事業であると考えている。</p>
発展性	<p>高齢者はもとより、これまで自治会活動に無関心だった住民を多く巻き込むため、若い世代も参加できるイベントを実施し、新たなコミュニケーションの場を提供することで、世代間交流を図られ、住民同士の絆が深まり、地域全体に互いに思いやる心の波及が期待できる。</p> <p>また、広報誌の発行やホームページの内容を充実することで、本事業について地域外にもPRする。</p>
地域性	<p>これまで「赤坂サロン」として独自に活動してきたが、本会を立ち上げたことにより、自治会、民生児童委員、地区社協との連携を深め、相互の絆を強化する。</p> <p>また、地域内の福祉関連や事業所などの諸団体との連携を密にし、交流を深めていく。</p>
必要性	<p>高齢者や若者の社会参加を推進するためには、まず安全・安心なまちづくりや健康の維持増進から取り組む必要がある。また、高齢者率が高く、人口流出により住宅の空洞化が進んでいることから、まちのにぎわいを創出する取り組みが求められている。</p> <p>しかし、様々な要因から町内会の運営にも苦慮している現状であり、町内会の存続に不安を覚える人が多くいる中で、本事業はこれからの町内会のあり方を考えるきっかけとなり、まちの活性化に繋がる有益な取り組みであると考えている。</p>
先導性	<p>ボランティアだけでなく、行政公共機関で連携しながら地域全体で包括的に関わっていく体制づくりを行う。その上で、次期リーダーを育てる必要があり、また達成した経験をネットを使い多くの地域や庁内会にノウハウを提供していく。</p>
継続性	<p>町内会の明日を考えることは、長期にわたり多くの人達と関わりながら経験を伝えていく必要がある。参加者や協力者を増やし、諸活動の中から運営費も創り出して住民主体の独立運営が可能となるシステムを構築する。</p>